

平成24年度 第1回 教育・研修検討委員会 議事録

日時	2013-7-18 14:00～17:00	作成	横山	前回	—
場所	事務局会議室((株)アイデック 7階)				
出席者	出席：富田委員長、森副委員長、鈴木委員(代理:寺田)、今川委員(代理:増田)、 榎本委員、小西委員、横山委員 欠席：田吹委員 (順不同、敬称略)				
議事	1. 第1回 日本繊維状物質研究学術集会の開催について 2. 今後の講習会、研修会のあり方について 3. その他				

議 事 内 容

富田委員長の挨拶の後、小西委員(当協会 専務理事)より、資料 1「委員会名簿」に基づき、委員の紹介が行われ、議事に入った。また、富田委員長より「本委員会を年2回ほど開催予定であること」「今後、発展させていくため、いろいろな研修会及び講習会等を開催したい」旨の内容も併せてあった。

副委員長は、森委員が選出された。本委員会の議事録は、横山委員が担当することとなった。

1. 第1回 日本繊維状物質研究学術集会の開催について

小西委員より資料2「第1回 日本繊維状物質研究学術集会プログラム(案)」について説明があった。プログラムは、あらかじめ学術集会の演題を募集し、作成した旨の説明も併せてあった。作成したプログラム(案)に基づき、開催日時・開催場所等の確認並びに特別講演・シンポジウム・一般研究発表の「司会者・座長の選定」、「スケジュール(時間配分を含む)」を審議した。審議にて承認(決定)した事項は以下のとおりである。

【承認(決定)事項】

決定したプログラムは以下のとおりである。

開催日時：平成 25 年 8 月 21 日(水) 9 時 30 分～17 時(学術集会)
17 時 30 分～20 時(交流集会)

開催場所：メルパルク東京

・9 時 20 分～【開会挨拶】(一社)日本繊維状物質研究協会 理事長 相澤 好治

・9 時 30 分～10 時【特別講演 1】

司会：鈴木 治彦 ((公社)日本作業環境測定協会)

『製品中のアスベスト含有率分析手法の国際的動向』

神山 宣彦 (東洋大学 客員教授)

(次頁へ)

・ 10 時 ～ 10 時 40 分 【一般研究発表】

座長：森 洋 (秋田環境測定センター(株))

- ① 『ナノ粒子を測定対象とした新型粉じん計 LD-5N2 の特性に関する研究』
村田 克 (早稲田大学 理工学術院)、
- ② 『アスベスト粉じんに対する防じんマスク及び PAPR 用ろ過材の性能』
鶴岡 俊之 ((株)重松製作所)

・ 10 時 45 分 ～ 12 時 【特別講演 2】

司会：小西 淑人 ((一社) 日本繊維状物質研究協会)

『アスベストの焼成無害化処理物の安全性評価』

- ① アスベストの無害化処理の必要性と背景
山内 博 (北里大学医療衛生学部 公衆衛生学 教授)
- ② アスベストの焼成無害化処理物の安全性評価に関する最近の知見
高田 礼子 (聖マリアンナ医科大学 予防医学 教授)

・ 12 時 ～ 12 時 30 分 【特別講演 3】

司会：今川 輝男 ((株)重松製作所)

『アスベスト除去現場等で使用される集じん・排気装置の適切な使用について』

福田 義人 (アゼアス株式会社 営業本部マーケティング部 担当部長)

・ 12 時 30 分 ～ 13 時 30 分 【昼食休憩】

・ 13 時 30 分 ～ 14 時 30 分 【一般研究発表】

座長：横山 辰巳 ((株)アイデック)

- ① 『パーティクルカウンターによるアスベスト除去工事における集じん排気装置吹出口管理の有効性について』
中元 章博 (日本環境分析センター(株))
- ② 『アスベスト除去作業における各種計測器を用いたアスベストの漏洩の監視』
霜村 浩一 (柴田科学(株))
- ③ 『がれきの処理作業など短期間作業にも対応可能なアスベストの簡易測定方法の開発について(第 1 報)』
鈴木 治彦 ((公社)日本作業環境測定協会)

・ 14 時 30 分 ～ 15 時 10 分 【特別講演 4】

司会：榎本 孝紀 (柴田科学(株))

『人造鉱物繊維取扱い作業者に有効な呼吸用保護具』

- ① 興研株式会社 安全衛生ディビジョン マネージャー 篠宮 真樹
- ② 株式会社重松製作所 企画室 室長 今川 輝男

・ 15 時 10 分 ～ 15 時 30 分 【休憩】

(次頁へ)

・ 15 時 30 分 ～ 17 時 30 分 【シンポジウム】

司会：富田 雅行 ((一社)日本繊維状物質研究協会)

テーマ：『繊維状物質の諸問題と課題』

① 『繊維状物質関連業界で抱える問題について』

戸塚 優子

(セラミックファイバー工業会環境委員長、ロックウール工業会主査)

② 『FRP 船製造事業場の硝子繊維発生状況について』

田吹 光司郎 ((一財)西日本産業衛生会北九州環境測定センター 所長)

③ 『繊維状物質の計測方法の現状と課題』

名古屋 俊士 (早稲田大学 創造理工学部 教授)

④ 『人造鉱物繊維に関する許容濃度制定の背景』

森本 泰夫 (産業医科大学 産業生態科学研究所 教授)

質疑応答 (20 分)

・ 17 時 25 分 【閉会挨拶】

(一社)日本繊維状物質研究協会 副理事長 富田 雅行

・ 17 時 30 分 ～ 【交流集会】

※抄録原稿の締め切りを平成 25 年 8 月 5 日(月)までとし、シンポジウム・特別講演者には抄録原稿を 4 枚、一般発表者には 2 枚を発送することとなった。

2. 今後の講習会、研修会のあり方について

小西委員より「今後の講習会、研修会のあり方」について説明があり、講習会・研修会等について意見交換を行った。意見交換の結果、以下の内容で承認(決定)された。

【承認(決定)事項】

(1) 講習会・セミナー(研修会)の年間開催予定

日本繊維状物質研究学術集会：1 回/年 8 月

講習会・セミナー(研修会) 2 回/年 1 月下旬、5 月又は 6 月

(2) 講習会の内容

講習会での意見は以下のとおりである。

① 石綿分析(JIS を含めた)に関する研修会

座学・技術研修会を実施

② 呼吸用保護具に関する研修会

当協会が一般企業から受けて、現場で講習を行う。

③ 生体影響に関する研修会

④ 石綿作業主任者講習会の開催

(次頁へ)

(3) セミナーの内容

天然鉱物繊維(セピオライト・バーミキュライト・ブルーサイト・タルク等)の使用状況

- ① 蛇紋岩粉末と農薬を混合した場合
- ② 石綿の輸入の現状(経産省・厚労省)
- ③ アスベスト以外の天然鉱物繊維の生体影響
文献的考察と安全衛生評価の現状を踏まえ
- ④ アスベストと共存している結晶質シリカの影響

(4) 基礎講座の内容

基礎講座での意見は以下のとおりである。

- ① アスベストの許容濃度等がどのように決められているか
- ② リスク評価検討会の内容を講座とするか
- ③ 企業でのリスク評価について

以上の(1)~(4)の内容については、次回委員会にて検討することとなった。

3. その他

第2回委員会の日程調整を行い、平成25年9月27日(金) 14時から開催することとなった。

以上

【配布資料】

資料1 委員会名簿

資料2 第1回 日本繊維状物質研究学術集会プログラム案